

上夜須青年部

若者が元氣やと
地域も元氣になるがよ
酒ものんで
楽しゅうやろうや

◆頑張っている人物やグループを
広報編集委員が紹介します。…担当/ 田中 たい子

「この自治会には、最近では珍しい「青年部」が元気に活動しています。今回は、その活動を探ってみました。」

神祭の練習で

「こんばんは」と集会所の扉を開くと、2人の男性が忙しう料理を仕込んでいた。今日は、青年部の総会と親睦会が行われる。血色がいいと思ったら、傍らにはビールが。部長の宗園文男さんも遅れて加わり、男ばかりの調理室でお話を聞いた。

この青年部ができたきっかけは、神祭で演じられる「棒打ち」。8年ほど前から子ども「花棒」という演目も始め、指導は地区の青年が担当した。子どもを連れてくるお父さんたちと青年たちは意気投合し、練習後は「おいしい」「おきやく」に杯を交わすことで、近所のきずなが深まった。

沖繩から夜須町に移ってきた仲村雄次さんは、何かにつけ「おきやく」をする夜須の風土がお気に入り。また北川村出身の松山昌弘さんは「近所の人と家族ぐるみでわいわいやるのが楽しくなったのは、上夜須に来てからやね」と、ビールを手に、「ニッ」と笑った。

無理をせず楽しむ

総会が始まり、人も徐々に増え集まった青年は20人ほど。議題は昨年度の活動報告と新しい役員選出。今年の部長は仲村さんに決定。昨年の部長は、相談役にまわり「お金以外の相談があったら、何でもりますきー」とやる気満々!?



「無理をせず皆が楽しめる会にする」がスローガン。「年々回天体観測に行くのはどう?」「町民バレーに参加しようや」など、次々とアイデアが出てくる。

総会が終わると、いよいよ「おきやく」のはじまり。自治会の先輩たちも、お祝いを持って参上。その中に、先頭に立って若者を引張ってくれた仕掛け人がいる。宗園良一さんだ。この地域ですつと人のつなぎ役として力を注ぎ、青年部を立ち上げる時、行政への書類作成など、一手に引き受けてくれた。「わしゃあ、なんちゃーしちゃん。みんなで酒が飲めたら言うことないき! 皆が仲良うなって、まちが元気になる! ハッハッ!」と、どこまでも陽気である。

世代を超えて

地域の先輩たちは、青年部のがんばりを本当に喜んでいる。「わしらもがんばりゆうぜよ。裏の小屋もおんちゃんらーで作った。高級車までこしらえたぜよ!」と、裏庭の2台のりやカーを指差した。確かに、りっぱなりやカーが小屋の中にあっただ。

いつの間にか集会所は大おきやくとなっていた。やはり地域の元氣は「おきやく」から生まれるらしい。一緒に料理を作り、食べ、飲む。そこに年長者も子どもも若者も集い、世代を超えたいきずなができいく。集会所は笑い声であふれ、結局私自身帰りは代行で帰るようになってしまった。

編集後記

▼このたびの東日本大震災で、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。

また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。厳しい避難環境が一秒でも早く改善されることを願って止みません。非力な私たちは、報道される被災地の惨状に言葉を失い、被災された方の笑顔や前向きな姿に勇気をいただく毎日です。今回「広報こうなん」で何が出来るかを考え、力不足ではありますが「今こそ支え合う時」として特集をさせていただきます。予定では、吉川、赤岡、夜須町で開催された「市政懇談会」となっておりますが、5月号で紹介させていただきますので、よろしくお願いたします。

(香南市広報編集委員会)
▼3月23日の異動発表で広報係を卒業することになりました。

合併以前から担当させていただいた6年間はあつという間で、仲間や家族、たくさんの方々の市民の方々に助けていただいた毎日で、皆さんからいただいた励みや叱りを忘れず、今後に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。(井上由美)

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi.konan.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi.konan.jp

